

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		地域情報通信基盤整備事業				
	担当課・係名		企画情報課 企画調整係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	02 総務費		中分類	04 高度情報化の推進	
項		01 総務管理費	小分類		01 高度情報化の推進		
	目	07 企画費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		5,553	5,551	4,940	4,937	5,415
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	5,433	5,265	4,819	4,822	5,413
一般財源		120	286	121	115	2	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
住民全般							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
超高速通信網を整備し、情報格差を是正し、地域の活性化を図る。							
⑤	事業概要						
光ファイバーケーブルの整備（L＝44.4Km）							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
計画通りの整備がなされ、光ファイバ契約加入数は1,286件（H31.2月末現在）となっており、全世帯のおよそ5割以上の加入件数となっており、年々増加傾向にある。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	加入数	単位：件	実績値	1,178	1,230	1,286	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	民間による迅速な実施が期待できず、あらゆる分野における情報格差を是正するため、町が積極的に行うべき事業である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 13	超高速通信網の整備により、あらゆる分野での効果が期待できる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	3
ウ 受益者負担は適正である	3
評価の説明 点数 10	当該事業は、NTTが圧倒的に有利な事業であるため、利用者の利便性向上のためには、サービス展開等においても競争ができる条件を整えて行く必要がある。 また、高齢者等がインターネットを利用するための通信料金の負担が難しい。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	加入者数は増加しているが、通信料の負担等が問題となり、これ以上の急激な増加は見込めない。 また、急速なスマートフォンの普及により解約する加入者も多くなると見込まれる。

⑪	課長総括評価 合計点 40	デジタルディバイド解消のための事業であり、未だ加入者数は増加傾向にある。 現状のまま継続とする。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		情報通信施設管理事業				
	担当課・係名		企画情報課 企画調整係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	02 総務費		中分類	04 高度情報化の推進	
		項	01 総務管理費		小分類	01 高度情報化の推進	
目		14 情報通信施設管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		174,749	173,913	10,089	10,048	7,651
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	174,749	173,913	10,089	10,048	7,651
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	住民全般（公共施設、避難所等・全世帯）／情報通信施設（WiMAX及びIP告知端末）						
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
	行政情報・災害関連情報等を一元的に集約し、情報を共有する機能や、町から住民に必要な情報を、多様な機器等を通じて一括に発信する機能を有するシステムを構築し、災害時でも情報発信を可能な情報網（WiMAX/WiFi）を整備し、町から地域内外にいる住民へより確実な情報伝達の仕組みを形成することで、災害に強い情報連携システム構築を図る。						
⑤	事業概要						
	<p>これまでの経緯により、既存の有線放送設備を活用し、有線放送のない家庭にはスピーカーを設置して情報配信を継続することとなった。</p> <p>また、全世帯への一斉放送が不可能となったことから、特定防衛施設周辺整備調整交付金150,569千円を自主返還した。</p> <p>平成30年度においては、指定避難所をつなぐ通信設備として、保守・修繕を実施した。</p> <p>なお、平成30年度より、有線放送に関わる部分を別事業として切り離している。</p>						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	<p>平成27年4月から全世帯への一斉放送ができない問題が生じたため、施設の改善対策等を講じてながら、平成28年5月からの運用開始に努めてきたが、全世帯への一斉放送は達成できなかった。</p> <p>平成28年11月に有識者による「色麻町情報通信施設検証委員会」を設置し、施設に関する障害・課題等を検証した結果、全世帯への一斉放送は不可能な状況にあると報告がなされた。</p> <p>平成29年度に「色麻町情報通信施設検討委員会」を設置し、既存施設の利活用や新たな配信方式について検討した。</p> <p>検討委員会からの提案内容と併せて既存の有線放送設備の活用についても検討を重ね、最終的に「既存の</p>						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	○色麻町情報通信施設の設置及び管理に関する条例						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	公共施設及び避難所等	単位：台	実績値	50	50	50
				目標値	0	0	0
	定義						
	B		単位：	実績値	0	0	0
				目標値	2,000	2,000	0
	定義						
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A		単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						
	B		単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	3
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 13	行政情報や災害関連情報等の伝達は行政が担うべき役割の中でも最たるもののひとつであり、伝達手法を巡っての経緯はあったものの、スピーカー設置を希望する声にはきめ細やかに対応していく。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	災害放送以外にも行政放送（住民サービス・議会放送等）にも利活用できる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	3
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	3
ウ 受益者負担は適正である	3
評価の説明 点数 9	受益者負担は求めている。 将来的にランニングコストや老朽化に伴うコストが発生するため、問題が顕在化する以前の段階で費用負担についての考え方を整理する必要がある。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	既存の有線放送設備を引き続き使用して情報配信を行うこととなった。 スピーカーの設置希望に対しては、設置計画をもとに日々対応している。

⑪	課長総括評価 合計点 37	当該施設の事業実施の趣旨を勘案しながら今後の運用方法、対応策について、東北総合通信局と協議を開始する。
	今後の方向性	改善の上継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		情報システム管理事業				
	担当課・係名		企画情報課 企画調整係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	02 総務費		中分類	04 高度情報化の推進	
		項	01 総務管理費		小分類	01 高度情報化の推進	
目		12 情報システム管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		14,582	14,493	15,027	14,973	20,571
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	14,582	14,493	12,095	12,042	20,571
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	職員、住民等						
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
	行政の各種事務・手続き等において、情報通信基盤や情報システムを整備・活用することにより社会・経済活動の活性化及び町民サービスの向上を図ると共に、行政事務の簡素化・効率化を推進する。						
⑤	事業概要						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民が利用しやすい電子申請や届出システムの運用（H22～）</li> <li>・基幹系ネットワーク（自治体クラウド）構築（H24～）</li> <li>・総合行政ネットワーク（L GWAN）の活用（H25～）</li> <li>・番号制度に伴うシステム改修（H26～H29）</li> <li>・ウイルス、情報漏洩等の対策強化（H28～H29）</li> <li>・県自治体セキュリティクラウド運用（H28～）</li> <li>・第四次総合行政ネットワーク（L GWAN）に改修（H30）</li> <li>・情報系PC等再構築（H30～）</li> <li>・配布外記録媒体使用制限（R1～）</li> </ul>						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	<p>厳しい財政状況のなかで、より一層効率的・効果的で、より質の高い町民本位の行政サービスを提供していく必要がある。</p> <p>また、マイナンバー制度における行政機関との「情報連携」及び「マイナポータル」が、平成29年11月13日から本格運用を開始する。</p>						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	情報系PC 単位：台	実績値	120	120	127	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	B	基幹系PC 単位：台	実績値	74	74	85	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)					
		指標名			H28	H29	H30
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

<b>⑩ 目的妥当性の評価</b>	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	町内の情報通信基盤（光ファイバー）が整備され、だれでも簡単な手続きで、満足度の高い行政サービスを提供することができる。
<b>有効性の評価</b>	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 13	I Tを効果的に活用し、多様なニーズに対応した質の高い行政サービスを提供することにより、利用者の利便性の向上を図るとともに、電子自治体化を進めることにより、行政の一層のスリム化の実現する取組が期待される。 また、配布外の媒体を制限することによりセキュリティ強化を推進することが出来た。
<b>効率性の評価</b>	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	厳しい財政状況の中において、より一層のコスト削減や効果的かつ効率的な I T投資の実施、経費対効果を自治体クラウド等の構築を検討する。
<b>達成度の評価</b>	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	町民サービスの向上と行政事務の効率化は徐々に図られている。

<b>⑪</b>	<b>課長総括評価</b> 電算システム業務は多岐にわたり、業務量、経費共に増加傾向にある。 電算技術の進歩等にも対応する必要があり、当該事業費の削減は困難ではあるが、類似団体等の比較しながら、委託業務内容を精査する必要がある。
合計点	42
今後の方向性	改善の上継続

<b>⑫</b>	<b>二次評価</b>
今後の方向性	

令和元年度 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		ホームページ更新事業				
	担当課・係名		企画情報課 統計広報係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	02 総務費		中分類	04 高度情報化の推進	
		項	01 総務管理費		小分類	01 高度情報化の推進	
目		12 情報システム管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		2,932	2,932	2,932	2,932	2,946
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2,932	2,932	2,932	2,932	2,946
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
住民、企業等							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
住民への情報提供方法の一つとして、速報性が高く、少ないコストで広く情報発信が可能なインターネットを活用したホームページを開設することで、町政や住民生活に関する情報を、迅速かつ分かりやすく住民に提供する。							
⑤	事業概要						
・町ホームページを活用した情報発信の促進							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
町の魅力を積極的に発信しながら、高度情報化された行政（電子自治体）の実現を図る。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	更新状況（年間）	単位：回数	実績値	1,113	999	594	
			目標値	0	0	0	
定義 各課からの更新							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	アクセス数（年間）	単位：回	実績値	132,279	375,277	373,322	
			目標値	0	0	0	
定義 最新情報の提供							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	スマートフォンやタブレット端末に対応したシステム構築を行ってきている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	従来の文字中心の伝達方法だけでなく、映像や画像での伝達が可能とされる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	3
ウ 受益者負担は適正である	3
評価の説明 点数 10	CMS（コンテンツ管理システム）の構築より、Webサイト管理の業務負担が軽減された。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	「広報紙」以外にいつでも・どこでも行政情報等が閲覧できる環境が整備された。

⑪	課長総括評価 合計点 39	ホームページはさまざまな情報を素早く正確に情報を提供できるツールであるため、町のPR、経済活動を活発化する上で、さらに重要性を増している。 各課等において、より多くの情報を掲載するよう当課において周知し、地域住民に対し、的確な情報を発信する必要がある。
	今後の方向性	改善の上継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	